

# 立命電友会

## ◇巻頭言◇

### 人生百年時代を

### 有意義に生きる目的を定め、 しっかりとビジョンを描こう！

田中 壽 雄 (昭和35年卒)

昭和十二年生れの小生にとって、今年には七周年、八回目の丑年である。

卒年で言えば昭和三十五年卒になるが、立命電友会の会員構成も年々若いメンバーが増加してくると、年号による表記ではないの会員諸氏にとってピンとこないのではと案じている。

因みに西暦表記だと1937年生れ、1960年卒、満84歳となる。

新型コロナウイルスの影響で昨年は中



止になった卒業式後の立命電友会入会式と祝賀会、今年は何とか卒業・修了式前日に、オンライン形式によって実施できたが、卒業生諸氏に対する新会員としての意識付けは、雑談もできるリアル開催には及ばなかった。

就職先等におられる先輩諸氏から、ぜひ一言お声掛けをして頂き、立命電友会々員であることの意識付けを図って頂きたいと願うところである。

前置きが長くなったが、学生生活につづく二年の助手勤務体験については、会報第18号への寄稿、同第39号における小堀富久夫先生追悼文の中で詳述しているの、ここでは近時の状況を対象に述べてみたい。

## 目次

- P1~2... 巻頭言
- P2~3... 退職のご挨拶
- P4... 研究室紹介
- P5... 就職状況(1)(2)
- P6... 卒業・修了祝賀会祝辞・表彰
- P6... 学系だより
- P6... 計報・事務局便り

キャリアデザインセミナーでOB講話を担当させてもらっている。当初は理工系の3回生と大学院1回生が対象だったが、その後は電子システム系1回生を対象にしたOB技術者による講演となった。本題は「世界初自動改札機はこうして誕生した！」で、2001年6月にNHKテレビ番組「プロジェクトX挑戦者たち」に採り上げられた内容に沿って、オムロン(株)時代の開発体験を話しているが、最後の20分程度は、まだ高校生気分の抜け切っていない新入生故に、卒業までの大学生活で心掛けるべき生き方について概を飛ばしている。特にコロナ禍で初めてのオンライン形式となった昨年6月の講義では、コロナ禍によって大きく変わろうとしている世の中の仕組みについて触れ、単にビジネスの仕方の変化に留まらず、学業への取組み方、社会人になるための心掛けにも変化が及ぶ、パラダイムシ

フトへの自覚と備えの必要性を強調した。

一月余り後、担当教授から頂戴した学生諸君のレポート要約集を拝見すると、本題部分よりも概を飛ばした部分の方のインパクトが強かった様で、むしろ安心した次第である。

オムロンにおける現役を退いてからは、(独)中小企業基盤整備機構の専門家として中小企業経営の支援業務に携わる傍ら、それらの経験や実績を活かし、自らも経営コンサルタントとして中小企業経営者向け経営セミナーの講師や、定年後の第二の人生で起業・創業を志す人への支援・指導に関わってきたが、ここで痛感するのが、将来の目標に対してしっかりとした理念を持ち、その理念の下に具体的なビジョンを描いて行動するか否かで、その成功率に大きな差が生じていることである。

先の講義で学生諸君にも話していることだが、子供の頃から描いていた大人になったら…の夢、「夢」は、それ自体では責任度が薄く、実現レベルも問われないが、「ビジョン」は、自分への責任、家族への責任、社会への責任など、責任度合があり、その実現性が求めら

れる。したがって、社会に出るまでの在学中に、自分の目標を単なる夢のレベルに留めず、明確なビジョンに描くことが必要である!!と。

このことは、私たち大人にも言えることで、人生百年時代と言われる今日、定年後の人生は、卒業して社会人になってから定年を迎えるまでの期間とほぼ同じである。学生時代に子供のころの夢をビジョンに変えることに比べると、現役期間中に次なる人生の夢をビジョン化することの方が、人生経験の知見度合いから見てはるかに易しい筈である。しかし、時々後輩たちから「第二の人生については暫らく充電期間を置いて考える予定です」と記された退職の通知を受け取ることがある。そんな時は、「定年退職が地震の様に突然襲ってききましたか?」なぜ実行に移せるその日が待ち遠しく思える程に、事前準備をしておかなかったのですか?と返信することにしている。

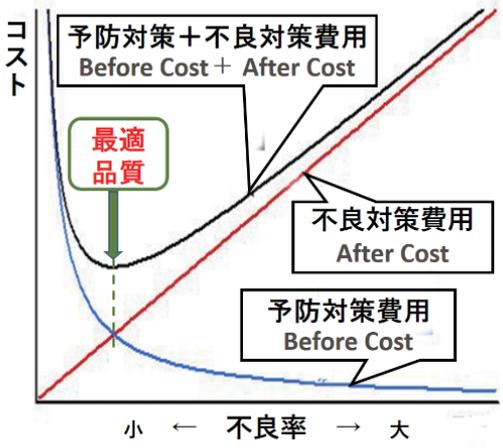
大学の規模拡大に伴って、立命電友会のメンバー構成も現役世代の比率の方が大きくなってきているが、現役時代におけるスピノフ組も含めた起業の成功率は1年で40%、5年で15%、10

年で6%程度と厳しい。消えて行く事例の多くが、将来の目標に対する理念やビジョンが曖昧で、そのため戦略や実行計画の詰めが甘いという共通点を持っている。また、起業した年齢が遅い程ビジョンの詰めが良く出ていて成功率が高いと言える。定年後の第二の人生では、必ずしも起業がすべてではない。好みの職種に再就職して新しい体験を楽しんだり、生活に余裕があれば趣味の世界に没頭するという人も多い。しかし、何れにおいても、現役時代に匹敵する長い歳月を日々充実感を持って過ごすには、やはり具体的な目的意識の下、しっかりとビジョンを描いて当てるのが何よりも必要と言えるのではないだろうか。

ところで、下図はご存知の品質保証における最適品質を示すグラフで、赤線は不良発生に対応するアフターコスト、青線は予防対策に要するビフォーコストである。図に見られる様に、最適品質とは不良率がゼロになる点ではなく、コストパフォーマンスがミニマムとなる点である。個人的見解だが、小生はこの図が今回のコロナ禍の状況にも当て嵌まると考えている。

この1年余りは大きなアフターコストを掛けて感染拡大防止を図ってきた。そして2月からは予防策としてのワクチン接種が始まり、ようやくビフォーコストにウエイトが掛かってきた。

しかしアレルギー体質でワクチンを打てない人や、打ちたくないという人がいる限り、感染ゼロ状態には戻らない。これが、ウィズコロナ下での新生活様式と認識することが重要である。



完

### 退職のご挨拶

#### 退職の挨拶

電気電子工学科  
助教 大橋 あすか

私は本年3月末をもちまして、退職いたします。2016年4月に着任して、5年間になりました。在職中にご指導いただいた先生方、サポートしてくださった職員の皆様、そして学生の皆さん、すべての方々にお世話になりました。厚く御礼申し上げます。こちらの会報にて挨拶の機会をいただきましたので、学生との接し方・講義・研究の3つに分けてお話しさせていただきます。

私は愛知県立立命大学で博士前期・後期課程に在籍中の3年間、高等学校や大学での非常勤講師を務めました。当時は一学生とというのが私の意識にあったので、教員よりも先輩のような立ち位置で生徒・学生に接してきました。2016年3月に学位を取得して、翌月に電気電子工学科への助教に就任してからも、学生への接し方を大きく変えることができずに現在に至っているよ

うに思います。それが良いのか悪いのかは学生の感じ方次第だと思うので一概には言えません。私としては、学生の皆さんからの色々な話を聞く機会を増やす一因になったと思うので、良い選択だったのだと思います。ただ、そろそろ先輩とは言いづらい年齢になってきたので、軌道修正をしていかなければと考えているところです。

次に、講義について振り返ると、単年での講師経験では得られなかった、同じ講義をブラッシュアップする過程がとても興味深かったです。着任初年度から4年間担当した情報処理では、初年度は「小テスト」のみ、2、3年目は「小テスト」+「復習/演習課題」、4年目は「小テスト」+「復習/演習課題」+「練習問題の解答を受講生が黒板に記入」という形に課題や練習問題の取り組み方を更新しました。週1回90分という講義形式は、復習を前提に設計されており、先週分の内容が分からな

情報処理の講義では面倒だと感じた受講生もいたかと思いますが、課題を通じて復習の仕方として身に付けてもらっていたら、課題作成の甲斐があったなと思います。

私の主な研究分野は数値線形代数・多重線形代数です。研究テーマとしてはテンソル積という演算子を含む大規模な行列に対する特異値の効率的な計算法構築に取り組んできました。このテーマは修士論文の頃から取り組んでいる課題の1つで、これまで最大・最小特異値を対象とし、最近では発展して、任意の特異値1つの計算法の開発に取り組んでいます。学生時代を思い返すと、数値線形代数の応用例について勉強だったように思います。着任後にシステム制御工学研究室(鷹羽浄嗣教授)とメディア情報システム研究室(福水洋平准教授)でお

世話になり、システムのダイナミクスを表す行列、画像や音声を表す行列・ベクトルなどを扱いました。線形代数における単なる数字の並びの行列ではなく、意味のある数字の並びの行列を活用した研究に取り組んだこと

で、不勉強だと感じていた応用例への認識を確立できました。今後も様々な分野について学び、数値線形代数の研究で培った技術を応用し、研究の幅を広げられるように邁進したいと思えます。

今年度は、コロナ禍により講義やゼミといった対面での取り組みがオンライン化されたり、イベントが中止されたりと特別な1年でした。対面でない事による不便さはもちろんありましたが、オンラインで意外と出るといふ気づきもありました。コロナ禍の影響が今後どれだけ続くのか先の見えない状況ですが、今年度の経験を活かすことで今後をさらに有意義なものにしていきたいと思えます。

最後になりましたが、立命電友会の皆様、電子システム系の皆様のさらなるご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、退職の挨拶とさせていただきます。

### 退職のご挨拶

電気電子工学科  
助教 堤 康 宏

私は、本年3月末をもって、退職させていただくことになり

ました。退職のご挨拶を執筆させていただくにあたって、着任からの3年間を思い出し、あらためて、皆様には、様々なことでご指導、ご助力いただいたと感謝しております。

2018年4月に電気電子工学科に助教として着任し、画像情報機器研究室（藤枝研究室）に所属させていただきました。本研究室では、液晶ディスプレイのような画像表示機器を中心に、太陽光発電や放射線位置検出器など、研究室名から単純に想像できないような幅広い内容の研究が進められており、私もこれらの研究に携わらせていただきました。着任前は、光ファイバ通信、およびそれに関連した光ファイバセンシングについての研究を行ってきており、光通信以外の研究室に所属したのは、今回が初めてでした。同じ光を扱う研究ですが、応用が異なるため、新たに学ぶことも多く、大変勉強になりました。特に、ヒトの色の見え方に関する内容は興味深く、教科書に書いていること以上に奥の深い内容であることがわかりました。また、研究内容が広がったおかげ

で、少し世界が広く見えるようになりました。たとえば、発電に関する研究に取り組み始めたことで、屋根に取り付けられた太陽電池が目に行くようになり、これまで風景として、見逃していたものを意識して見ることができるようになりました。オープンラボのお手伝いでは、高校生や一般の方にわかりやすいデモを行うため、液晶ディスプレイを分解して液晶パネル表面の偏光フィルムを剥がすなど、面白い体験をたくさんできました。また、蛍光現象の応用について、興味を持ってもらう方法を模索する中で、トイレの汚れに紫外光をあけると蛍光が発生する様子を見せようという少し変わった案がありました。学生と一緒に、照明を消したトイレで、紫外線ランプを持って、蛍光を観測するという何とも不審人物に間違われそうな予備実験も行いました。結局は、わかりにくい、トイレ利用者がいたときに問題になるなどの理由で、不採用になりましたが、笑い話として良い思い出になりました。ディスプレイの学会で研究成果のデモンストレーションを行

う機会にも恵まれ、良い経験になりました。通常の研究発表のように、あらかじめ処理しておいた実験データをまとめて報告するのではなく、その場で実験（測定）し、データをリアルタイムで処理し、結果を表示することが必要になるため、苦労しました。はじめ、Javaを使ってプログラミングしようと試みましたが、うまくいきませんでした。類似の問題に関する解決策がないかWebで検索していたところ、MATLABでも所望の処理をできることがわかりました。試しにMATLABで、実験装置からのデータ取得、取得データの処理、結果表示を行ってみたところ、うまくいきました。MATLAB本体や必要なToolboxのインストールを除けば、ものの10分程でくみ上げることができました。MATLABは高価な商用ソフトですが、大学で包括ライセンス契約を結んでいたおかげで、無料ですぐに使い始めることができ、改めて、立命館大学の環境の良さを実感しました。

学生実験、演習や講義科目も担当させていただき、教員として大変良い経験を積ませていただきました。本学科では、授業の引継ぎや多クラス開講科目の授業統一などがしっかりとおり、ベテランの先生方の授業資料、試験、成績評価方法を拝見する機会が多くあり、大変勉強になりました。特に、いただいた授業資料には、授業の導入部分でスマートフォンのような学生になじみの深いものを例に挙げて説明するなど、学生に興味を持たせるための工夫が随所にみられ、大変参考になりました。また、初年度に受講したFDセミナー（新任教員セミナー）も大変役立ちました。

他にも感謝していることが多々ございますが、文字数の関係上、上記の内容にとどめたいと思えます。退職後は、立命館大学を離れ、関西の私立大学で電気系の教員になります。立命館大学理工学部電気システム系で学んだことや、楽しかった思い出を胸に、今後も頑張っていきたいと思えます。末筆ではございますが、電子システム系の皆様のご発展と、立命電友会の皆様のご健康と御多幸を祈念いたします。

研究室紹介

峯元・河野研究室

助教 河野 悠

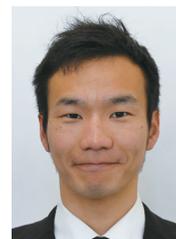
● 研究概要

峯元・河野研究室では太陽光発電の研究をしています。

太陽光発電を行う素子である太陽電池をゼロから作製・評価したり、屋外に設置して測定データ解析を行っています。

研究室の雰囲気は、先輩後輩のつながりが強く、研究に限らずなんでも話し合える仲です。今年度は対面で話す機会が減った分、新しく導入した研究室 slack や web ゼミなどを柔軟に活用し、オンラインの研究環境を使って話す機会が増えました。留学生や外国人の教授の方もいるので、積極的に話しかけて英語にチャレンジすることもできます。毎年、学生が主体的に勉強会を開いて、基礎から一緒に勉強します。峯元先生が太陽電池の技術を解説する YouTube チャンネルもあります。

視聴はこちらから → <https://www.youtube.com/channel/UCiIS8bK1IjedkbCtZKHAr5A>



教授 峯元 高志 助教 河野 悠

● 研究テーマ

研究テーマは主に4つあります。

1 屋外環境における太陽光発電の動作解析

屋外に設置した太陽電池の実測データを元に、特性評価や発電量予測をしており、より実用的な評価方法を提案しています。また、理論計算により、効率を向上させる太陽電池の構造を提案しています。屋外という太陽電池の実際の動作環境下にて太陽電池の発電に影響する要素をモニタリングすることで、屋内試験では気付かなかった発見もあります。

2 新材料を用いた太陽電池の作製と評価

資源の豊富な、入手しやすい材料を用いて太陽電池を作製しています。先行研究の少ない材料を扱っているため、次々と予想外の発見があります。中には、太陽電池の世界記録を保持している材料もあります。

3 CIS太陽電池の高効率化と用途拡大に関する研究

太陽電池には様々な役割を持つ層があり、太陽光を吸収して光電変換する層、変換した電気を効率よく取り出すための層などがあります。薄膜太陽電池は、各層が厚み約0.001mm程の薄い膜で構成されています。このうち、特にCuInSe<sub>2</sub> (各元素の頭文字をとってCIS) で太陽光を吸収する太陽電池の研究をしています。この材料は既に製品化されていますが、まだまだ未解決の問題も多いです。光-電気エネルギーの変換効率も毎年のように更新されていて、やりがいのある研究テーマです。

他にも、曲げられる、表裏両方から太陽光を受けれる、他の太陽電池と組み合わせて高い効率にするなど、CIS太陽電池の可能性を広げる研究もしています。

4 有機無機ハイブリッド太陽電池の研究

有機太陽電池と無機太陽電池の両方の材料を用いた太陽電池の研究も行っています。特に、MA (メチルアミン)、Pb (鉛)、I (ヨウ素) から構成される、ペロブスカイト太陽電池の研究を行っています。この材料を用いた太陽電池は、直近の10年間で急激に変換効率を伸ばしています。私達はこれまでの無機太陽電池の知識を活かし、更なるエネルギー変換効率の改善や、耐候性の獲得を目指しています。

これらの研究につきましては、より詳しい情報も研究室HP、YouTubeにて紹介しています。ご興味を持って頂けたら、是非ご確認頂けたら幸いです。研究室HP

<http://www.ritsumei.ac.jp/se/re/takakuralab/>

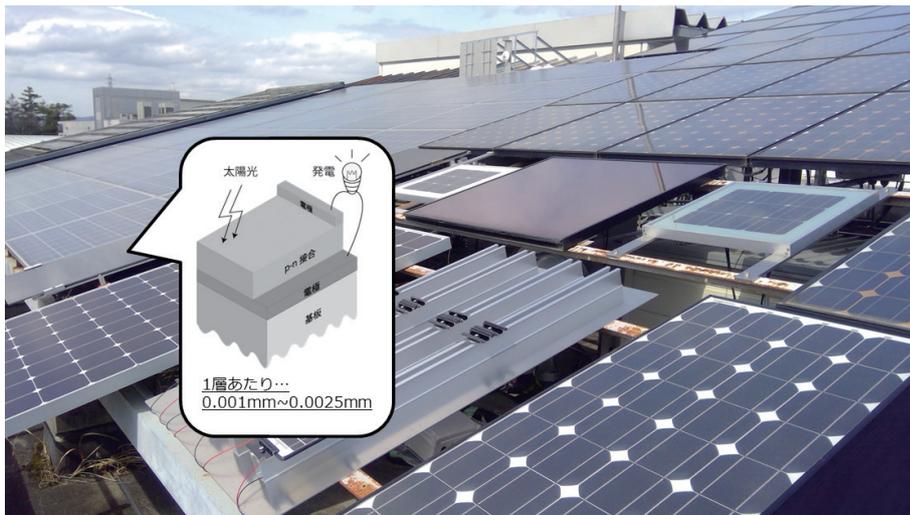
研究室紹介動画 (Youtube)

<https://youtu.be/a0JHILwkpJM>

● 研究室から新入生に一言

ご入学おめでとうございます。

太陽光発電に興味がありましたら、低回生向けの研究室体験制度や3回生の研究室紹介等でお気軽にお越しください。皆さんと会えることを楽しみにしています。



↑ 屋外環境での太陽電池の評価の様子。様々な種類の太陽電池を同時に評価している。イラストは薄膜太陽電池のイメージ。



↑ 研究室HP



↑ 研究室紹介動画



↑ YouTubeチャンネル

2020(令和2)年度  
電子システム系修了生・卒業生進学・就職状況

2021年3月修了・卒業の大学院前期課程・学部生の進学・就職状況を表Iに、就職先一覧を表IIに示します(2021年2月16日現在)。

大学院前期課程の修了者数は111名、学部卒業生は282名です。大学院後期課程への進学者は3名、学部卒業生のうち147名が大学院前期課程に進学し、進学率は約52%です(昨年度は40%、一昨年度は44%)。大学院前期課程修了生の91%(昨年度は98%、一昨年度は99%)、就職を希望する学部卒業生の中の78%(昨年度は71%、一昨年度は80%)が就職先を決定しています。つまり、大学院前期課程修了生、就職を希望する学部卒業生ともに、その決定率は高いものとなっています。緩やかな景気の回復が続いていましたが、新型コロナウイルスに伴って大卒の求人倍率は1.83倍から1.53倍に低下し、少なからず求人に影響を与えました。他方、リモートワークやオンライン化、さらには、AIブームに伴い、電子系学生のニーズが高まっており、電子系学生に有利な傾向も見受けられます。なお、就職先の業種としては電気・電子、機械が38%強を占めている他、自動車・情報

システムなどの企業への就職も多くなっています。

2021年3月卒業・修了予定者から、経団連は企業の説明会は3月開始、選考は6月開始の指針という指針を廃止しました。ただし、政府主導にて大学・経済界との協議の上、これ迄の採用指針はある程度維持されることになりました。しかし、採用予定者の早期確保のために、実際に採用スケジュールは上記の日程よりも早くなりつつある様子です。また、新型コロナウイルスに伴い、オンラインを活用した企業広報や、短期インターンシップなどの形で、選考に準じるものが進んでいます。選考の早期化の動きに対応するため、早期に自主的に企業研究や自己分析などの準備をしておくことが重要です。特に、新型コロナウイルスに伴うオンライン就活に対応するため、オンラインツール環境の整備が重要となります。その意識づけの為に、キャリアセンターでは前年の4月・10月に進路・就職ガイダンスを、12月に就活直前ガイダンスを開催しています。また、近年夏のインターンシップに加えて、1・2月に短期のインターンシップを行う会社が増加しており、このようなイベントを就

職活動のスタートダッシュに利用する学生も多数いるようです。電子システム系では、早い段階で、就職活動に対する意識づけを行うため、2回生以降の専門科目の中で、就職活動を終了した先輩や電子システム系出身のOBを招聘して、オンラインキャリア講演会を開催しております。先輩諸氏におかれましても、より一層のご支援をお願い申し上げます。

就職活動において学校推薦という形態を活用する学生も多くあります。学校推薦とは、大学と企業との間にある高い信頼関係に基づき運営しているもので、当該企業に属するOB・OGのご活躍によって築き上げられてきたものです。それゆえ、自由応募とは異なり、必ず第一志望であること、選考や内定の辞退は絶対に行えないこと、その他厳しい条件が前提であることをご理解頂きますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

(就職委員 久保 博嗣)

I. 修了者・進学者・就職者一覧  
(2021年2月16日現在)

	修了生	進学者	就職者	活動中 (内定あり含む)	その他
大学院 (電気電子工学科)	70	1	66	2	1
大学院 (電子情報工学科)	41	2	33	3	3
電気電子 工学科	164	87	60	15	2
電子情報 工学科	118	60	45	11	2
合計	393	150	204	31	8

II. 就職先一覧

(大学院・修了生の就職先も含む)(順不同、敬称略)

業種	企業名
工事業	三同建設(株)、清水建設(株)、(株)きんでん、大洋興業(株)、関西保温工業、(株)JFEテクノス(株)、(株)九電工、西日本電気システム(株)、千代田化工建設(株) 9社/11名
繊維・化学工業	(株)ジェイエスピー 1社/1名
製造業 (金属・機械)	京セラ(株)、(株)神戸製鋼所、(株)センシユール、リンナイ(株)、(株)ダイフク、ダイキン工業(株)、三菱重工工業(株)、中西金属工業(株)、(株)荏原製作所、(株)クボタ、三菱重工機械システム(株)、(株)山岡製作所、(株)SCREENグラフィックソリューションズ、(株)ディスコ、(株)イシダ、サクラ精機(株)、(株)ニコン、京楽産業(株)、テルモ(株)、ニプロ(株) 20社/25名
製造業 (電子・電気) (情報通信) (輸送機械)	TDK(株)、ローム(株)、(株)藤田製作所、大日電子(株)、音羽電機工業(株)、キオクシア(株)、(株)日立製作所、ニチコン(株)、パナソニック(株)、三菱電機(株)、住友電装(株)、日本電産(株)、富士電機(株)、(株)中国電機サービス社、アルプスアルパイン(株)、(株)村田製作所、桑畑電機(株)、(株)堀場エステック、(株)GSユアサ、(株)エネゲート、SMK(株)、シャープ(株)、(株)パッファロー、(株)アルチザネットワークス、日立オムロンターミナルソリューションズ(株)、電気興業(株)、(株)PFU、(株)SUBARU、(株)デンソー、(株)豊田自動織機、アイシン精機(株)、トヨタ車体(株)、マツダ(株)、ヤマハ発動機(株)、トヨタ紡織(株)、本田技研工業(株) 36社/57名
電気・ガス業	関西電力(株)、中部電力(株)、九州電力(株) 3社/8名
通信・放送業	(株)NTTドコモ、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)、東日本電信電話(株)、(株)オプテージ、西日本電信電話(株)、楽天モバイル(株) 6社/12名
情報サービス業	ナビオコンピュータ(株)、パーソルR&D(株)、日本電気(株)、富士通(株)、(株)三菱電機コンピュータズ、日本アイ・ビー・エム(株)、(株)ソフトウェア・サービス、ナレッジスイート(株)、ファウンダーズ(株)、(株)フロムスクラッチ、(株)シーイーシー、(株)トップゲート、Sky(株)、情報技術開発(株)、(株)セントラル情報サービス、(株)オービック、(株)DTS、(株)ピークアドバンス、(株)ビーアイシステム、iCAD(株)、ウイングアーク1st(株)、(株)Fusic、オムロンソフトウェア(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・データ、(株)インテック、(株)ナビタイムジャパン、ヤフー(株) 27社/28名
鉄道・航空運輸業	西日本旅客鉄道(株)、東海旅客鉄道(株)、朝日航洋(株) 3社/4名
その他	メルダスシステムエンジニアリング(株)、東京エレクトロニクス(株)、(株)エムズ・システムサービス、富士ゼロックス東京(株)、三菱重工冷熱(株)、(株)肥後銀行、(株)伊予銀行、東京電力ホールディングス(株)、サントリーホールディングス(株)、ライク(株)、(株)CINC、ヤンマーホールディングス(株)、昭和電線ホールディングス(株)、(株)みずほフィナンシャルグループ、アクセンチュア(株)、ソニー(株)、(株)アウトソーシングテクノロジー、(株)アルトナー、(株)メイテック、ディーピーティー(株)、(株)ビーネックステクノロジーズ、ブライザ(株)、UTパベック(株)、(株)日立システムズ、東芝インフラシステムズ(株)、(株)いなとり荘、(株)ワン・ダイニング、楽天証券(株)、タカラスタンダード(株)、(株)オカムラ、大洋土地産業(株)、(株)GF、(株)日テレITプロデュース、アイリスオーヤマ(株)、フリュー(株)、(株)読売新聞東京本社、(学)立命館、国家公務員一般職、長浜水道企業団、鯖江市役所、名古屋人事委員会 41社/53名

立命電友会 2020年度入会式 (オンライン形式) 開催

立命電友会 入会式に当たり、お祝いの言葉として

立命電友会会長 瀬見 英利

2020年度ご卒業の皆様、おめでとございます。

新しい社会に飛び立つ皆様に、幸あれと祈念いたします。

卒業と同時に、立命電友会の会員にもなって頂いております。歓迎致します。

本来、入会式にて、お祝いすべきなのですが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行が継続しているため、文書でのお祝いになることをお許しください。

思い出せば、私の卒業式も学園紛争にて行われなかったと記憶しております。

今になれば、当時の事を思い出す一つの逸話になり、懐かしいとも思えます。さて、これからは、皆様には、新しい人生のはじまりとなるのですが、今までは誰かが与えてくれた課題に対する対応が中心だったかと思いますが、今後は自分で問題を発見して、解決策を見出し、分析、検討して、対処法を実行し、結果の推移を確認し、修正して改善していくこ

とになります。

大学で、先生方から、教わった学力をベースに変わりゆく社会に合わせて、自分独自の考えに基づいた活動をするようになります。垂れ流される情報を無批判に信じ込むのみでなく、自分で考え、信念をもって行動して頂きたいと願います。

自由に社会の変革、継続等に活躍ください。

私の好きな物語に、水滸伝があります。梁山泊に集まった英雄、豪傑が活躍する話です。なか、立命館の卒業生とダブって感じられ、スマートではないけれど、義を大切に、実行していく姿が大好きです。皆様も、陋習にとらわれずに、着実に社会のため、動いて頂けると信じております。

そうは言っても、一人の力で何でもできると言う訳にも行かないでしょう。学生時代の仲間を中心に「ワンチーム」で、諸事難題を解決しなければならぬ事もあるでしょう。それでも、簡単に解決できない大きな壁にぶち当たることもあるかと思えます。そんな時、いつでも、立命電友会の仲間にも相談してください。日本各地に、いや世界各地に1万4千名強の会員がお

られます。各所で、多くの知見をお持ちの諸先輩が、バリバリ働いておられます。我々には、同じ大学、同じ学科で学んだ共通の太い絆があります。相談すれば、何か、きつと良い解決策が見つかるのでは！ 遠慮なく、ご相談ください。

最後に、私のなかった卒業式に、贈って頂いた末川博(当時の総長)先生の色紙の言葉を皆様の新しい社会への門出にあたり、お贈り致したいと思えます。「理想は高く、姿勢を低くいつも心に太陽をもってゆつくりとがっちり」と

理論を貫いて実践に生き実践を通して理論を究め前へ前へと進もう。

未来を信じ、未来に生きる君の洋々たる前途を祝福して」

電子システム系 2020年度表彰者一覧

2020年度、在学時に学業・もしくは研究活動を活発に行ってきた学生28名が表彰されました。おめでとうございます。

○学業成績 部門 (敬称略)

〔最優秀賞〕(計3名)

河瀬 裕太(電気電子工学科)

和田 邑一(電気電子工学科)

黒田 訓宏(電子情報工学科)

○研究活動 部門 [大学院生] (最優秀賞)(計6名) 岩井 俊樹・林 遼希 白根 健太・疋田 拓万

林 空良・LYU BING (優秀賞)(計11名)

WANG Zhichen・金本 美穂 久保 哲朗・ZHANG Zhiyu

田中 優花・CHEN YUXI CHEN LEHAN・豊田 遙

中井 唯・西谷 悠哉 本間 健太郎

〔学部生〕 (最優秀賞) 対象者なし (優秀賞)(計8名)

塚田 拓海(電気電子工学科)

渥美 柁彦(電子情報工学科)

太田 秀星(電子情報工学科)

嶋田 知泰(電子情報工学科)

菅原 英治(電子情報工学科)

田中 大貴(電子情報工学科)

原田 優作(電子情報工学科)

横尾 健太郎(電子情報工学科) 以上

学系だより

令和3年度 電子システム系の 主な役職

◎電子情報工学科 学科長 馬杉 正男 就職委員 泉 知論 電気電子工学科 学科長 久保 幸弘 就職委員 田口 耕造

◎電子情報工学科 学科長 馬杉 正男 就職委員 泉 知論 電気電子工学科 学科長 久保 幸弘 就職委員 田口 耕造

訃報

昭26年卒 加地 郁郎 平成31年2月24日

昭32年卒 大槻 弘夫 令和2年

昭34年卒 岩木 保雄 令和2年10月4日

昭46年卒 長村 暢之 令和2年8月5日

ご冥福をお祈り申し上げます。

事務局便り

立命電友会会報56号の発行にあたり、ご寄稿を頂きました皆様に対し心よりお礼を申し上げます。

今後も会報内容充実に一層の努力を重ねて参りたいと考えております。どうぞ、会員の皆様の積極的なご寄稿を賜ります様よろしくお願い申し上げます。住所及びアドレスの変更がございましたら事務局までご連絡頂きますよう、よろしくお願ひ申し上げます。ホームページから変更受付しておりますのでご利用下さい。(上田・岸)

立命電友会連絡先 〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 立命館大学理工学部電子システム系内 立命電友会事務局 川畑良尚 上田美津子(月・木) 岸 千津代(火・木) 電話・077(561)2554 FAX・077(561)2663 E-mail: den-yu@ritsumei.ac.jp http://ritsumei-denyukai.com/ (会報の題字は久保之俊氏)